

# 平成27年度事業報告の承認について

## I. 平成27年度 事業報告概要

超高齢社会の我が国にあって、意欲のあるすべての高年齢者に、年齢に関係なく活躍できる環境を創ることは、重要な課題です。当センターは、平成23年度に作成した中長期計画案「設立40周年に向けてのマスタープラン」に掲げる中期目標値の達成に向けて、以下の事業を実施しました。

### 就業開拓提供事業

- ・ 個人家庭等の家事支援や営繕、清掃などを中心とした地域の身近な仕事の開拓に努めました。
- ・ 派遣事業開拓の専門職員を配備し、介護施設やスーパー等の労働力が不足する分野に積極的に派遣事業の就業開拓を実施しました。
- ・ 就業開拓の観点から、女性部会、就業開拓専門部会等で協議し、『シルバー便利屋Day』を開催し、市役所ロビー及びセンター事務所前空地を活かした啓発活動を展開しました。
- ・ 指定管理施設「門真市立弁天池公園」を、新入会員研修会や体験就業の場所として活用しました。
- ・ 事務局通信、ホームページ、就業情報公開システム『情報太郎』や掲示板等で、最新の就業情報の提供を行い、企業別の求人説明会等を実施し、会員の就業促進に努めました。
- ・ 豊かな経験を持つ会員の個々の経験や就業履歴、希望又はセンターの貢献等を加味し、平等で適正な就業機会の情報提供に努めました。
- ・ 他団体と連携して生活支援分野の拡大に努め、介護保険事業の拡大を図るとともに、門真市が進める新総合事業への積極的な参画を目指して、門真市の総合事業連絡協議会にも参加しました。
- ・ 『お仕事紹介キャンペーン』を3ヵ月間実施し、22件の受注がありました。

### 普及啓発事業

- ・ 機関誌『門真シルバー人材だより』の市内全戸配布・市広報紙への会員募集の記事掲載、ホームページ刷新、ケーブルTV、地元FMラジオ、新聞等のマスメディアへの情報提供など、積極的な普及啓発活動を行いました。
- ・ シルバークラウドゴルフ大会・ウォーキングイベント等市民参加のイベントを企画し、センター事業への参加機会を広げました。
- ・ 『入会推進キャンペーン』を実施し、会員の親族・友人・知人の方への入会勧誘を行い、22名の新入会員を獲得しました。
- ・ 女性部会を中心とした、各種イベントへの模擬店出店などでセンター事業のPRを図りました。
- ・ ボランティア活動推進委員会や地域ブロックが企画した市内清掃を一般市民に呼び掛け、延べ1,801名の参加がありました。また、イベントとして指定管理施設「門真市立弁天池公園」（スプリングカーニバル、象鼻杯、ふれあい感謝祭）の実施、市内のイベント

(ラブリーフェスタ、スポーツ・レクリエーション大会、大商業祭、ゆるキャラ祭り、プラザ de 朝市門真もん) の参入、府内のイベントとして(大阪マラソン、シルバークエストイバル inOBP) にも参加しました。

- ・「青色防犯パトロール隊」を組織し、合計 21 回の防犯活動に出動しました。
- ・市内の各種団体と連携し、積極的な普及啓発活動を実施しました。

以上のような積極的な就業開拓提供事業と普及啓発事業により、本年度の事業実績は、会員数については新たに 266 名の入会がありましたが、病気、家庭の事情等で 199 人が退会され、結果として 67 人増の 1,495 人となりました。

請負による年間の事業実績は、就業延人員 131,292 人日、就業率 86.4%、契約件数 5,258 件、契約金額 465,281,167 円の就業実績となり、契約金額は、派遣事業に移行する仕事が発生し若干減少したものの、それ以外は、順調な事業実績となりました。

### 提案型事業及び独自事業

- ・福祉有償運送業務を核とする『元気な高齢者が支える(たすけ愛スマイルピース)事業』を実施し受注件数 2,439 件となりました。
- ・ふれあい広場などの世代間の交流を核とする『世代間交流やふれあい教室で伸ばそう市民の生きる力』事業を実施し、計 150 件の受注件数を得ました。
- ・高齢者や障がいをお持ちの方、産前産後や病弱の方に対し、『「地域の注文聞きまっせ」いきいきお助け笑顔推進事業』を実施し、ワンコインサービス等による 141 件の受注を得ました。

### 研修・講習会事業

- ・入会説明会を年間 22 回開催し、新入会員研修・体験就労は、49 回延べ 109 日間実施し、事業の理解を高めました。
- ・適正就業推進委員会による毎年必須受講の適正就業特別研修会は、年間 5 期、28 回開催いたしました。また、新たに公共や植木、清掃等の職域班別特別研修の 8 回を加え、延べ 1,213 名の会員の皆様に受講いただきました。
- ・派遣に携わる会員を対象に研修会を開催し、延べ 96 名の参加がありました。
- ・大阪府シルバー人材センター協議会の河北地区ブロックが主催する、除草、植木剪定や生活援助講習会への参加や介護保険事業を実施するセンターの共催で介護初任者研修会を開催しました。

### 調査研究事業

- ・公益法人としてコンプライアンスを第一に、個人情報取扱いや諸規程の整備、遵守を徹底しました。
- ・会員のセンター活動への貢献度を評価し、総会時に表彰を実施しました。
- ・センターでの就業が介護予防にも効果があることを実証する共同研究「健康・生活アンケート」は、2 年目を迎え、839 名の回答、回収率 58.8% となりました。この研究が、今後の事業推進に活用できると考えられ、会員の皆さんの正確な回答と回収率の向上が求められます。

## 相談事業

- ・請負、委任・労働者派遣及び職業紹介の三つの機能を十分に活用し高齢者就業のワンストップサービス機能の強化をしました。
- ・地域班組織 4ブロックごとに懇談会を開催し、センター事業の内容の周知や未就業者対策等の意見交換を行いました。

## 安全・適正就業推進事業

- ・関係団体等に協力を求め、自転車の交通安全や救急時救命等の講習会を開催しました。
- ・自動車の運転業務を希望する会員の為に、簡易ドライバー試験を実施し、事故防止に努めました。
- ・万が一の事故に備えて、自転車運転保険の加入を推進しました。

## 職業紹介事業

- ・職業安定法に定める「職業紹介者」の資格を有した者を配置し、臨時的かつ短期的な雇用による就業、又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高年齢者に対して、職業斡旋事業を行いました。
- ・直接雇用を希望する企業等へ、職業紹介事業の普及に努めました。

## 一般労働者派遣事業

- ・公益社団法人大阪府シルバー人材センター協議会門真事務所として「派遣元責任者」の資格を有した職員を配置し、臨時的かつ短期的な雇用による就業、又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高年齢者に対して、一般労働者派遣事業を推進しました。

結果として労働者派遣事業は、受注件数 108 件、延べ人員 16,984 人日、契約金額では 80,450,423 円となり、前年度の 2 倍近い大幅な伸びと成りました。

## 訪問介護事業

- ・訪問介護事業所『さきエール』として専任のサービス提供責任者を配置し、地域包括支援センター・ケアマネジャーや利用者・関係機関・訪問介護員との連絡調整に努め、結果として、延べ 2,583 人日の訪問介護員が活躍しました。
- ・福祉有償運送業務を絡めた総合福祉サービス体制の充実を図った結果、延べ 2,609 人日の就業を確保しました。また、家事支援事業としては、延べ 1,611 人日の就業がありました。しかしながら、住宅改修事業につきましては、本年度は、受注をいただくことが出来ませんでした。
- ・訪問介護員の資質向上のため定期的なヘルパー会議や講習を開催いたしました。また、訪問介護員初任者研修を受講し、新たに 3 名の会員が有資格者となりました。